

③ 相談援助面接研修（記録編）

(1) 目的

記録の目的や意義を学び、リスクについて理解する。
多職種間（チーム）で共通認識を行える記録方法について学ぶ。

(2) 日程

第1班：2019年 7月23日（火）【 1日間 】

第2班：2019年11月26日（火）【 1日間 】

※第1班、第2班の内容は、同じです。

(3) 受講対象

相談業務等に従事している者のうち、基礎的な知識・技術を有する職員で、より専門的かつ実践的な知識技術の習得を期待される職員。

(4) 定員 各30名

(5) 参加負担金 各2,000円

※研修テキストとして、研修講師著書を別途ご購入いただきます。

(6) プログラム

1日目		
9:30～9:50	受付	
9:50～10:00	オリエンテーション	
10:00～12:00	講義Ⅰ『対人援助職に求められる記録とは』	福島県立医科大学 放射線医学県民 健康管理センター 特任准教授 八木 亜紀子 氏
12:00～13:00	— 昼食・休憩 —	
13:00～17:00 (途中休憩あり)	演習Ⅰ『SOAPで表現する』 ～Subjective Objective Assessment Plan～	

※研修プログラムについては、一部内容を変更する場合がございますのでご了承ください。

※SOAPとは…情報を[S]ubjective（主観的情報）、[O]bjective（客観的情報）、[A]ssessment（アセスメント、見立て）、[P]lan（支援計画）に整理して記録する、記録形式の1つ。頭文字をとってSOAPという。